

豊洲市場における空気調査及び地下水質調査結果（概要）

1 調査の概要

(1) 空気調査【資料1】

- ・建物1階（5箇所）、屋外（4箇所）、地下ピット（10箇所）の19箇所で、ベンゼン、シアン、水銀を毎月測定
- ・いずれの測定結果についても、大気環境基準等に適合

(2) 地下水質調査【資料2】

箇所数		選定理由	頻度(月)	平成29年												平成30年												平成31年					
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4						
46箇所	濃度確認 29箇所	これまでの調査で 濃度が高い箇所を 中心に選定	毎月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全体確認 17箇所	街区等の バランスを 考慮し選定	3か月 ごと			○				○					○					○								○				○	

  

箇所数		選定理由	頻度(月)	令和元年												令和2年												令和3年						
				5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2									
46箇所 (45箇所)*	濃度確認 29箇所 (28箇所)*	これまでの調査で 濃度が高い箇所を 中心に選定	3か月ごと (令和元年5月 より変更)	○							○					○																		○
	全体確認 17箇所	街区等の バランスを 考慮し選定		○								○					○																	○

※「千客万来施設事業用地（5街区）における駐車場棟整備」の工事開始に伴い、令和元年5月から令和2年5月までI29-4の測定を休止したため、箇所数に変更  
 ※「豊洲市場6街区整地工事」の工事開始に伴い、令和2年8月はC26-7の測定を休止したため、箇所数に変更

・濃度確認モニタリングの最高濃度の推移（mg/L）

	H29.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30.1月	2月	3月	4月
ベンゼン	1.0	1.1	1.0	1.2	1.6	1.4	1.1	1.3	1.2	1.1	1.4	1.4
シアン	1.4	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.3	1.3
ヒ素	0.033	0.030	0.031**2	0.023	0.028	0.030	0.032	0.033	0.030	0.034	0.035	0.033

	H30.5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H31.1月	2月	3月	4月
ベンゼン	1.4	1.7	1.3	1.4	1.3	1.4	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3
シアン	1.2	1.1	1.2	1.1	1.2	1.2	1.3	1.4	1.4	1.3	1.1	1.3
ヒ素	0.036	0.032	0.037	0.040	0.038	0.038	0.037	0.042	0.044	0.038	0.040	0.039

	R元.5月	8月	11月	R2.2月	5月	8月	11月	R3.2月	第9回**1
ベンゼン	1.1	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	0.79
シアン	1.3	1.3	1.2	0.9	1.1	1.1	1.0	1.3	1.2
ヒ素	0.036**3	0.041	0.039	0.038	0.034	0.036	0.037	0.036**4	0.038

- ※1 平成28年11月～12月に採水した、第9回地下水モニタリングの結果（201箇所）
- ※2 全体確認モニタリング井戸も合わせた46箇所の最高濃度：0.040 mg/L（M31-2）
- ※3 全体確認モニタリング井戸も合わせた45箇所の最高濃度：0.037 mg/L（M31-2）
- ※4 全体確認モニタリング井戸も合わせた46箇所の最高濃度：0.050 mg/L（P21-3）

## 2 専門家の評価の概要【資料3】

### (1) 空気調査結果

建物1階部分、屋外、地下ピット内のいずれの空気についても、前回の調査結果（12月25日公表）と同様に、科学的な視点から安全は確保された状態にあると考えられる。

### (2) 地下水質調査結果

前回の調査結果（12月25日公表）と比べ、濃度が上昇傾向を示した地点や低下傾向を示した地点も存在しているが、全体的に見れば、大きく汚染状況が変化した傾向は確認できない。

## 3 豊洲市場の安全・安心について

都は、平成29年7月に「無害化に代わる新たな方針」を定め、安全で安心な市場の実現に向け、専門的・科学的で妥当な対策を講じることで、地上の安全に万全を期すとともに、正確な情報発信を通じて、都民や事業者の理解と安心に繋げていくこととしている。

今後とも地下水管理システムによる地下水の揚水を継続するとともに、空気調査、地下水質調査といったモニタリングを継続し、正確な情報をわかりやすく公表していくことで、豊洲市場を安全・安心な市場として運営していく。